

# 10月に条件付公募型入札

## 県宅建協会の新会館建設

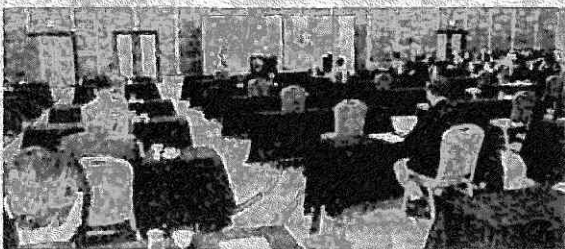
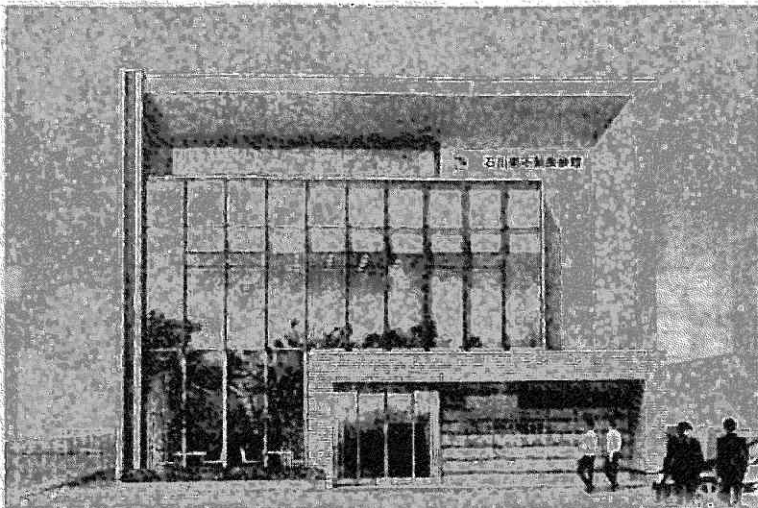
総会で承認

### S3階792<sup>2</sup>m、総事業費3億円

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会（新谷健二理事長）の21年度定時総会が25日、金沢市のホテル日航金沢で開かれ、老朽化した石川県不動産会館（大豆田本町）を隣接する駐車場用地で建て替える「新会館建設工事」に係る議案（基本

計画）を承認した。基本計画によると、建設規模はS造（準耐火）3階建て延べ792・27平方メートル（1階270・40平方メートル、2階264・87平方メートル、257・00平方メートル）。建築面積は302・37平方メートルで、高さは11・00メートル。敷地面積は12

55・66平方メートル。駐車台数は35台とする。今後のスケジュールとしては、6月7月に実施設計、8月下旬に確認申請認可、10月初旬に条件付き公募型競争入札による施工業者選定、12月初旬に着工する予定。新会館の完成は22年8月下旬を予定し、その後、現会館の解体と駐車場の整備



新会館の完成イメージパース④と定時総会の様子

に取り掛かり、同年11月下旬の竣工を目指す。総事業費は設計監理

費、建設工事費、現会館解体費、駐車場整備費などを含め3億円（消費税

込み）。設計に関しては、プロポーザルで選定したエヌアンドピーアーキテクト（金沢市近岡町）で基本設計が完了。引き続き実施設計に移行する。

無料相談所の充実▽不動産流通情報システムに関する事業などを盛り込んでいる。

総会では配置図や平面図、立面図、パースも紹介された。

この日は県内各ブロックから会員49人が出席。新谷理事長があいさつした後、21年度事業計画案などを審議し承認した。今年度の事業計画には▽要望提言機会の確保、活動の充実▽既存住宅流通市場の活性化▽不動産

令和3年5月26日（水）  
建設工業新聞 第2面